

必要とされている行動をとる

四年ごとに行われる世界会議では、私たちのコミュニティと世界にとってどんな問題が大切かについて語り合い、ガイドラインを改善し、その後四年間のゴールを決めます。次の **2021** 年の世界会議では、気候変動について行動するというゴールを決め追及することを、提案する予定です。

次の世界会議までの間、国際照会者として必要なポリシーを提案するのは私の役目です。そこで私は、コミュニティとして以下のことに取り組むことを提言します。

RC コミュニティーは、主に人間によって引き起こされ、進行中の気候変動の危険性について明確な証拠があると認識し、この流れを止めるための方法と、実際に行動する課題に向き合い取り組んでいきます。

傷は、人間の知性や理性の邪魔をすると知っています。私たちはすべての **RC** コミュニティーメンバーたちが、この世界を守るための役割を担おうとするとときに邪魔してくる傷をディスチャージすることをサポートします。その際には、すべての抑圧がこの気候危機を作り出しているのに加担しており、解決策を見つけるにはすべての抑圧と向き合っていかなければならないことを認めて、行動します。

必要とされている行動をとるには、一人ひとりが非力で孤独であると思わせてくる傷に挑戦していかなければなりません。そして挑戦していく過程において、公の非理性的な政策に反対して、そして個人的な関係性の中で、共に、自信を持って前へ進む方法を学んでいく必要があります。

私たちは、気候変動を止めるために行動している個人や、団体、そして先住民の人たちとつながりながら、現状を理解するためにお互いを支え合います。それによって、現場からの知識と、孤独感と無力感に対するコントラディクションを得ることができます。

そして、私たちが持っている知識や実践力を、彼女/彼らと共有することで、気候変動に対してより効率的に取り組むことができます。

私たちは、**RCer** たちが集まって、今の状況について話し合い、ディスチャージし、新しい考えを生み出し、戦略を考える機会をなるべく早く作り出したいと思っています。

Taking a Needed Initiative
プレゼントタイム 2019年4月号 3 ページより
Tim Jackins
翻訳 安積宇宙

この文章の著作権はラショナルアイランド社にあります（翻訳 2020年、原文 2019年）。

この翻訳はあくまで草稿として扱ってください。

世界が崩壊しつつある時代に RC を教える

RC という方法を知っていること、抑圧からの解放とお互いのつながりを元により良い世界を目指すために取り組んでいるこの大きなコミュニティの一員であること、自分が正しいと思う方へ向かっていくための資源が自分の中にあると知っていることが、私はとても嬉しいです。何十年ものセッションと RC でのリーダーシップ、そのためにみんなから応援してもらったこと、そして RC コミュニティーの知性があるから、今自分ができていることをやれていると思います。たまに、がっかりしたり怖くなったりもしますが、セッションをして自分の課題から後ずさることはしないと知っています。みんなにも私と同じくらい自分の知性と意志を持つチャンスを得て欲しいと思います。そしてそれを可能にするためには、もっとたくさんの人に RC を教えなければなりません。

私たちは今気候危機とともに、崩壊しゆく社会の中で生きています。社会と経済制度は、傷に基づいた考えによってできています。その傷は、人々や地球を犠牲にして利益を生み出し、人々を非人間化し、搾取する抑圧を承認し、貧困を引き起こし、所得格差を拡大し、終わりのない消費に依存します。私たちの社会が、この基盤に基づいている限り、もはや存続することはできません。そして気候変動は、地域社会を壊し、気候変動を含む多くの社会問題を引き起こしている搾取の構造を明らかにしつつ、より急速な崩壊を助長していきます。

10 年前に私たちが予想していた未来ではなく、すべての人にとってより困難な時代に向かっていることに、人々はますます気づかされています。この機会に、より多くの人々を目覚めさせ、斬新な変革に向かっ共にもっと取り組んでほしいと考えています。壊滅的な温暖化を防止するために、拡大する地球規模の気候変動活動が化石燃料ベースの経済を閉鎖しなければなりません。それは社会の大きな変化を必要とし、そして大きな変化を引き起こすでしょう。

多くの RCer は、抑圧と搾取を終わらせるという側面から気候の緊急事態に取り組んでいます。私たちは RC を外の運動、特に気候変動の活動に広げてきて、人々は私たちの存在に気づいています。人々は、お互いに注意深く耳を傾けるという私たちの革命的なアイデアを受け入れています。世界的な危機により、さらに共につながって物事を正すことで、引き起こされた感情を取り除いていくという方法にも興味を持っています。この時代の中でよく機能するためには、心が健全であることが必要であることを人々は認識しています。その結果、聞くことと抑圧についての考え方についてもっと教えてくれるようにと、私たちに求めているのです。

多くの人が RC を教えてほしいとお願いしてくることを目標にして、私たちは取り組んできました。より多くの人々に RC への扉を開くために **United to End Racism** (人種差別を止めるためにつなごう)、**No Limits for Women** (女性に限界はない)、**Sustaining All Life** (すべての命を持続させる)、**and Jews and Gentiles United to End Anti-Semitism** (ユダヤ人とユダヤ人ではない人たちが手をつなぎ、反ユダヤ主義を止める) などの公開プロジェクトを作成しました。これらのプロジェクトでは、抑圧や気候変動など、人々が非常に興味を持っている問題からの視点

で RC を提示しています。これにより、より多くの人々が私たちのアイデアや実践に興味を持つことができます。

関心の高まりに対応するためには、もっと大勢の人たちが RC を世界に広げていくことが大切です。そのために、あなたの力が必要です。まだ RC を周りの人に伝えていない場合は、あなたがそれを行うのにふさわしい人物であると考え、セッションし、試してみてください！

私たちのイベントに参加して興味を示した人たちに、RC を自分のものにするための次のステップを提供できるようにしたいと考えています。何が可能かは、彼女/彼ら自身の資源とその周りの RC の資源によりますが、誰かから学べるということにも左右されます。その誰かとはあなたかもしれません。

すでに RC のティーチャーとして認められている場合は、クラスに新しい人を招待することを考えてみてください。現在クラスがない場合は、クラスを始めることを検討してください。経験豊富なカウンセラーであるけれど、教える資格をまだ持っていない場合は、認定を受けるために何が必要かをあなたのコミュニティーの照会者に尋ねてください。クラスを教えることが今は適切でないなら、誰に 1 対 1 で教えることができますか？

RC をより広く共有する人が増えるにつれ、この崩壊の時代の中で私たちのところへ来る人たちのために RC をどう役に立たせていくかについて考えディスチャージしていくことができます。RC のティーチャーたちには、人々が直面している問題を理解し、現代の社会運動と関わり、グローバルマジョリティの人々、若者、先住民、労働者階級と貧しい人々についてよく考え、理解してほしいと思います。その人たちのためにいい居場所をコミュニティーの中に作り、彼女/彼らのような人たちがコミュニティーに増え、その人たちによるリーダーシップがますます増えることを望んでいます。

そのためには多くのことを考える必要がありますが、それを引き受けることで、この困難な時代の中において、大きくて重要な人生を送る機会が得られます。RC へのアクセスをより多くの人々に届ける大きな役割を果たすことを、あなたが考えてくれることを望みます。

Teaching RC in a Time of Collapse
プレゼントタイム 2020 年 1 月号 19-20 ページより
Diane Shisk
翻訳 安積宇宙

この文章の著作権はラショナルアイランド社にあります（翻訳 2020 年、原文 2020 年）。

この翻訳はあくまで草稿として扱ってください。

緊急事態、そして新たな可能性

ティム・ジャキンズ¹、2019年6月、西海岸 RRP のワークショップでのトークより

人々はどのように共生するかについて多様な方法を見つけ出してきた。おそらくは労働の分担やその他の理由で、より大きなグループの人々が一緒に暮らす方がより多くの人々が生き延びることがわかった。そのため私たちは集団となり社会を構成する傾向がある。

いったん私たちが集団をつくると、傷のパターンとその伝染的な性質がより完全に現れるようになる。私たちは同じ人々や同じパターンに何度も何度も出会う。ある時点で抑圧的な社会が形成され、傷は私たちが一緒にいるやり方の一部になった。

一定数以上の人々が集まって以来、常に抑圧的な社会が存在してきた。どのようにそうなったか私たちには正確にはわからないが、そうだったことは明らかだ。なぜならそれは何度も何度も異なる場所で（異なる場所で異なるバージョンとして）起こったことだから。そして抑圧があったとしても、一人で外に出ている時よりも社会にいる時のほうがより多くの人々が生き延びることができた。

社会はこのようにより多くの人を生かすように機能するため、不安定でありながら何とかして続けるのだ。その社会は知性的なものではない。社会の中に多くの硬直性があって、それによって人々は搾取の方向に社会を発展させることになった。

社会の中にある傷付いた不合理性が変化を促し、ある時点で、社会の構造が機能しなくなるほど不合理的に変化する。人々は崩壊する古い社会の中で新しい社会を形成していく。しかし、傷と硬直性はまだ存在し、新しい社会は別の形式の抑圧と搾取を持つことになる。世界中の多くの場所で何度もこれを繰り返してきた。

それぞれの社会の歴史のなかで人々は社会改革を試みてきた、社会をそれほど厳しくないものに、抑圧的でないものに、腐敗しないようにしようと。例えば、社会保障制度がアメリカ合衆国の制度を長引かせようという試みとして、導入された。多くの人にとってこの制度は恩恵だったが、制度の問題を解決する真の方法ではなかった。私たちは米国のこの制度下に育ち、我々の精神は制度に挑戦しない解決方法を探し求めることに慣れきっている。

どうやら私たちがいまいるのは、古い言い回しで言う社会の「内的矛盾」が私たちに危機に追い込んだところらしい。硬直したパターンが私たちに窮地に追い詰め、私たちが生存できなくなるほど破滅的な状態に陥っている。社会構造が継続できなくなるだけでなく、私たち自身も、また他の多くの生命体も、生き延びられないかもしれない。私たちは硬直さのために自分たちの行動がどのように世界に影響を与えているかに注意を払うことができないできた。

新しいこと

現在の状況が新しいのは、これが世界のすべての人に同時に影響を与えているということだ。これまで一度もこのような経験をしたことがなかった。人々は異なる場所で異なる時期に大きな変化を導こうとしてきたが、それらの試みはすべて別々

で、それぞれの場所でそれぞれの問題を抱えてきた。いま、それぞれに切り離された問題はまだ存在しているものの、大きな1つの問題が存在している。つまり、私たちは地球を複雑な生命が生き延びるにはますます困難な場所にしてしまったのだ。

ある意味、これは新たな機会である。なぜなら、初めて目に見える形で、誰もの利害が同じからだ。このことは、この問題がすべての人に認識されるということの意味しない。何か大きな変化が起ころうとする時はいつでも、かなりの割合の人がそれを考えることができないでいる。彼らにはあまりにも怖くて、再刺激が強すぎるのだ。そのため彼らは変化を起こさせないようにしようとする。このことは客観的な条件には影響しない。ただ、客観的条件についての普遍的認識が直ぐにはもたらされないということだ。そのため気候変動の緊急事態については多くの議論がある。もはや、気候変動の問題が存在しないと多くの人が言うことはなくなった。しかし人々は振り返って「私は間違っていた」とは言わない。傷を伴う闘いはまだ存在している。

何かが起ころうとしている。私たちは十分な合理的を取り入れて、有用で、より搾取的でなくより破壊的ではないものが発展するようにできるだろうか？私には、環境破壊を止めるために必要な変化は社会が変わるよりも早く起こらなければならないと思える。(私は、もちろん、混迷の始まりにこのように推測している。物事は変わらなくてはならない時には非常に速く変化し得るので、すぐさま再考しなければならないだろう。)

私たちの役割

RCer である私たちは、柔軟な思考と新たな良い解決策のための最高の資源の一つである。使うことを忘れさえしなければ、いつでも私たちの精神がよりよく機能するようになる課程（プロセス）を持っている。日々、新しいことを見つけ出す。また他の人がこの過程を使って新しいことを見つけることを助けるやりかたも知っている。私たちには本当に面白い役割がある。

気候変動の緊急事態では皆の利害が一致する。私たちの仕事の一つは、人々が傷によって混乱して、「私」や「私の家族」が生きていくための方法があると錯覚し、「私たち」が「私たち」のために十分な資源を積み上げていると錯覚しているようなときに、自分たちの共通の利害に気づかせることだ。こうした錯覚は、一部には望みがないという気持ち、すなわち解決策はない、団結して現在の状況と闘う道はないという気持ちに基づいている。生存主義者の立つ位置は、それが「自分にできる最善のこと」であるということに基づいていて、もともと他の人に「反」しているわけではない。ただ、焦って望みをなくし孤独なだけだ。

私たちは非常に役立つ方法を知っている。またそのことを実際において知るために十分に取り組んできており、私たちにとっては単なる理論上のものではない。しかしまだ引っ込み思案で、私たちのうち多くの人知っていることを理論的に伝えようとしている。もちろん **RC** の最高の証明は私たちだ。この仕事を行ってきたのだ。このアイデアを使ってきたのだ。私たちを人々に知ってもらうようにすればするほど、人々は自分たちに何ができるか、何を手に入れられるのか理解するように

なる。人々は実践で RC を理解するようになる。この過程を使った心の動きを知るようになる。つまり、彼女/彼らと関わることができ、しっかり見つめ、コミュニケーションをとるのが明らかに好きであり、そして何かを知りたいと思わせるような心の動きを知る。このことが、RCを伝えることとして何よりも必要なものだと私は思う。

ディスチャージの重要性

また私たちはこの機会を使って、既に世界を変えようと立場を明らかにしている人々、既に努力している人々と一緒に役割を果たすことができる。彼女/彼らは私たちがいま知っていることを必要としている。いま役割を果たそうとしているし、何かしらの展望を必要としていて、なぜそれを行うことが困難なのかについての理解を必要としている。常に彼女/彼らが闘わなければならない混乱、無力感、孤独感に抗して進むことができる人の例を必要としている。彼女/彼らは、何かを変えるための大きな一歩を進めた。しかし厳しい経験を積み過ぎて、あるいは単に、時間をかけた結果、そこに留まることができなくなっている。身に着けた再刺激が彼女/彼らを意気消沈させる。皆が希望に満ちていようとしている、前に向かおうとしている人々と一緒にいることは傷に対する良いコントラディクションとなる。しかし、ディスチャージなしのコントラディクションは一定の時間しかもちこたえない。私たちはこれを理解している。私たちはこのことを伝えることもできる。私たちは機会を設けて、人々がこのディスチャージの過程を使い始めるようにすることができる。

気候変動に取り組む団体の中には、ある程度 RC を知る人が早くから関わっていたため、RCの原則や視点を取り込んでいるところがある。展望が確立され、人々はグループの機能の違いがわかるほどにそれに従うことができる。それは有益であり、重要なことだ。しかし、闘いが長引けば、それだけでは済まない。以前にも大きな、希望に満ちた、友好的な取り組みがあり、それらは擦り減って腐食している。ディスチャージする機会がなければ人は永遠に傷には耐えられない。私たちの仕事はディスチャージが起り得るような条件を作り出すことだ。例えば、人々はよく何か話をする機会が与えられたり、事後確認の短い報告をしたりする。そうした時に私たちがディスチャージを許容したり励ましたりすることはディスチャージの始まりになるだろう。

私たち自身のための可能性

必要な変化を起こす役割を担うことは私たち個人にとっても良いことだ。自分たちの傷、孤独で小さな存在で無力だと感じる傷に対抗して進むだろう。私たちに何かできることがあることを実践の中で自分自身に証明することになるだろう。私たちの人生を小さく留め置いてきたところに挑戦する機会がここには沢山ある。

私たちは自分の傷と闘い良い人生を築いてきた。しかしこれは大苦闘だった。まだ乗り越えられないでいることや、まだできていないことがある（しばしばこのため自分を間違えて責める）。いまではその記録を身につけた時には存在していなかった挑戦する方法が、ある。私たちは、私たちにとって有益な新たな可能性を持っている。

RC コミュニティのための可能性

また RC コミュニティもこれまでとは異なる成長をする必要がある。私たちは成長することに少しばかり苦闘してきた。私たちは一般的に人々に対し個人の人生を良くするための方法として RC を提供してきたが、誰もが持つ初期の孤独と敗北の深さを認識せずにこれを行ってきた。現在の気候変動の緊急事態により、これまでよりもずっと大きな状況において、人々の人生の始まりに刻みこまれた孤独と敗北の記録に挑戦する視点と共に、私たちが知っていることを提供することができる。

An Emergency, and New Opportunities
プレゼントタイム 2019 年 10 月号 3 ページより

Tim Jackins

翻訳 Kyoko

この文章の著作権はラショナルアイランド社にあります（翻訳 2020 年、原文 2019 年）。

この翻訳はあくまで草稿として扱ってください。

ⁱ タイム・ジャキンズは再評価カウンセリングコミュニティの国際照会者である。